

# はぴはぴベンチで八王子市を住みやすく

Make Hachioji City More Livable with "Happy Happy Benches"

半田ゼミ B チーム

学生氏名：田中佑希，長井勇樹，五十嵐瑞，清水彩華，吉沢彩花，久保田菜帆

指導教員 半田英俊

杏林大学 総合政策学部 総合政策学科 半田研究室

キーワード：休憩所，はぴはぴベンチ，リメイク

## 1. 八王子市に足りないベンチ

八王子市には多くの人々が買い物や娯楽を求めて訪れるが、その人々が長時間滞在しづらい現状があると考えられる。実際に、八王子市作成の「中心市街地活性化基本計画」の31ページに挙げられている滞在時間に関するアンケートによれば、平均滞在時間は2.1時間となっている。我々は多くの人々が滞在しづらい理由として、休憩する場所が少ないため疲れてしまうのではないかという仮説を立てた。

先述のとおり、多くの人が訪れているにも関わらず滞在時間が少なくなってしまうこの現状は、八王子の魅力を損なう要因の1つになっていると考える。

また、データとして八王子市が作成した「中心市街地活性化基本計画」によると、「市民が中心市街地に不足していると思うもの」というアンケートで「広場・ベンチ等の休憩施設」と答えた人が34.0%という結果になっている。

この結果から、現状の八王子市にはベンチが少ないと休憩する施設も少ないと考えることができる。そのため、年配者や子供が休憩できないという問題が発生している。

## 2. 八王子市の取り組み

2010年に八王子駅南口地区市街地再開発事業が完成し、駅周辺の歩行者通行量が増加したことにより、増加傾向であったが、2016年には減少し、また駅近辺以外の歩行者通行量を除いた歩行者通行量の推移に関しては2013年以降減少傾向である。

八王子市中心市街地活性化の目標の1つとして、「歩きやすく、憩いやすいまち」が挙げられている。中心市街地内には憩いの空間が不足している。憩いの空間が増えれば、憩いやすいまちになり、中心市街地全体の歩行者通行量も増えるのではないかと考えに至った。そこで提案したいプランが、はぴはぴベンチである。

## 3. はぴはぴベンチとは

今年は新型コロナウイルスの影響によって実施には至らなかったが、将来的にはお店の不要になったイスを回収し補強、修善したうえで、八王子市の幼稚園との間でイベントを開催し子供がリメイクしたイスを八王子市に休憩スペースとして提供しようというものである。

そして、私たちが設置するイスを効果的に活用し、市民や来街者の方々から求められるような設置場所を見つけるために、現在の八王子市街地に設置されているイスの場所や、中心市街地の人流

の調査を行った。それらの調査結果からベンチの設置が効果的だと見込める「はぴはぴスポット」を設定した。リメイクした椅子をはぴはぴスポットに設置して、多くの人々に休憩スポットとして利用されることを目標としている。

また、お店の不要なイスを回収するだけでなく、地域で行われるイスを制作するイベントへの参加及びそのイスの活用も行っていくため、制作の過程でもより多くの人との関わり合いをもてることや地域交流による活性化の見込み、またより親しみやすい休憩所としての活用が期待できる。

#### 4. メリット

##### ① 八王子市民のメリット

八王子市中心市街地活性化基本計画でのアンケート結果により、八王子市民は「広場やベンチ等の休憩施設が不足している」と感じていることが分かった。「はぴはぴベンチ」計画にてベンチを作り八王子市に提供することで、この問題を解消することができる。また、休憩施設が増えることにより、お年寄りや足の悪い方でも気軽に街を歩くことができ、歩行者通行量の増加並びに八王子市全体の活性化が見込める。

##### ② お店のメリット

製作したベンチを店の近くに置くことで、そこで休憩する人が増え、その分お店への来客数の増加も見込める。さらに、ただのベンチではなく幼稚園児・児童などによりリメイクを施してもらう予定のため、お店の目印にもなりやすい。

##### ③ 参加する子供のメリット

自由に椅子をリメイクすることで、創造力を向上させることができが期待できる。また、自分が作ったベンチが実際に使われるという、学校の授業などでは得ることができない経験ができる。

#### 5. デメリット

##### ① 故障時の責任

座っていた人の怪我が発生した場合など故障が原因だった際、責任の所在はどこの誰が担うのか。

##### ② 椅子の管理

故障の原因の例として椅子の劣化、老朽化が挙げられる。そういった椅子の管理をどう行うか。

##### ③ 店舗設置によるリスク

休憩スペースの確保として椅子を設置するが、お店の外に長時間居座ることでお店に迷惑をかけてしまう可能性がある。

#### 6. 結論

以上のことからベンチを八王子市に設置することで多くの八王子市民や八王子市民以外の方々にも利用していただき、気軽に休憩することができる街へと変わっていくことができる。さらに、休憩所が増えたことにより減少傾向にある歩行者通行量にも改善の兆しが見られ、椅子を作成する過程での交流を設けることが八王子市民の交流の場を設けることに繋がり、さらに活性化するといった目処を立てることができた。これらのように街づくりにおけるイベントを増やすことで街全体の改善や活性化につなげることができると結論づけたい。

#### 【参考文献】

八王子市「八王子市中心市街地活性化基本計画」  
([https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/hatioujichuuinn/p022972\\_d/fil/kihonkeikaku\\_202011.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/hatioujichuuinn/p022972_d/fil/kihonkeikaku_202011.pdf))

八王子市「中心市街地歩行量調査 報告書」

([https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/004/p014345\\_d/fil/R2hokouryouhoukoku.pdf](https://www.city.hachioji.tokyo.jp/kurashi/sangyo/003/004/p014345_d/fil/R2hokouryouhoukoku.pdf))